

かさおか ウオッチング

photo



◀本場のインドカレーを味わって

3月17日、中国電力株笠岡営業所クッキングルームにおいて、笠岡国際交流協会主催「世界の家庭料理教室」が行われました。

今回は、インド出身のリビアさんが講師となり、本場のポテトカレーの作り方を教わりました。お母さんたちがルーの作り方を教わっている間に、子どもたちはジャガイモを洗ったり、皮をむいたりしていました。できあがったカレーは思ったほど辛くなく、子どもたちからも「おいしい」との声があがっていました。

三月十四日、笠岡グランドホテルで「第八回笠岡市文学賞」の贈呈式が行われました。

この文学賞は、「木山捷平文学賞」と「市民の詩賞」の二つの賞から成っており、今回、「木山捷平文学賞」に輝いたのは堀江敏幸さんの短編集『雪沼とその周辺』。「市民の詩賞」最優秀賞に選ばれたのは増成順子さんの『ふるさと讃歌』でした。（笠岡市文学賞の詳細は、広報かさおか三月号に掲載しています。）

▶捷平文学の継承を 笠岡市文学賞贈呈式



◀人権意識の高まりを求めて

17回目となる笠岡市部落解放文化祭が、3月5日から7日までの3日にわたり、吉田文化会館及び吉田小学校体育館で開催されました。

会場では、保育園児や小・中学生たちが取り組んだ人権についての学習成果や、教科書の中の同和問題についてのパネルなどが展示されており、訪れた人たちはそれらを真剣に見ながら、人権についての認識を新たにしていました。

また、7日に行われた「人権を考える集い」では、ノンフィクション作家の角岡伸彦さんが「これからの部落問題」と題して講演し、多くの観客が耳を傾けていました。



大石哲史さんは、オペラシアターこんにやく座所属の歌手。第一部はソングコンサートを行い、時折見せるコミカルな動きは会場の笑いを誘っていました。第二部は、ひとりかたりオペラ「走れメロス」。メロスやセリヌンティウスなどの登場人物を演じる迫力の演技は圧巻でした。

▶白石島に響く オペラの歌声

女性地域活性化支援事業のひとつ「大石哲史コンサート」が三月十四日、島でコンサートをきこう会の主催により、白石小学校体育館で行われました。

